

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 26 No 6

299号

平成30年 6月 8日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

仙台市いじめ問題対策連絡協議会 院長

6月6日に仙台市いじめ問題対策連絡協議会（以下連絡協議会）が開催されたので、今月号ではいじめ問題を取り上げました。連絡協議会は条例で定められ、いじめ防止対策推進法（平成25年）を元に設置されています。目的として、「いじめの防止等に関係する機関および団体の連携その他いじめの防止等のための対策を推進するために必要な事項に関し、連絡及び協議を行う」と定められています。

仙台市では過去3年間で中学生の自死が3件あり、いじめとの深い関わりが示唆されています。このような状況の中、仙台市では様々ないじめ防止対策が講じられ、連絡協議会も取り組みの一つです。会議に参加するのは、医師会、歯科医師会、校長会、PTA、宮城県警、法務局、宮城県臨床心理士会、さらには仙台市健康福祉局・子供未来局・教育局の計13の機関および団体が参加しています。

滅多に覗くことができない会議の様子を、少しでもお話ししましょう。開会挨拶の後、連絡協議会を管轄する子供未来局長から委嘱状が手渡され、局長の挨拶がありました。委員の紹介があり、続いて会長を決めることとなります。条例によって会長は委員の互選によって定められていますが、その場で決まるものではありません。事務局が事前に会長候補者の内諾を得て、委員の誰かに提案を依頼してあるのです。そして提案は委員の拍手で承認されます。

さて、前期も会長を務めていたこともあり、継続して会長として推薦を受け就任することになりました。会長になると会長席に移動しなければなりません。事前に就任の要請があったので、当然のことながら会長挨拶原稿をしっかり準備していました。移動して会長席についた時に挨拶文を探しましたが、膨大な資料に紛れたのか見当たりません。あまりバタバタするのもみっともないし、間が空くことも許せなかったので、結局冷や汗をかきながらアドリブで切り抜けました。当日は夏日で冷房が入らない市役所のおかげで、たっぷりと大汗をかかせてもらったのは言うまでもありません。

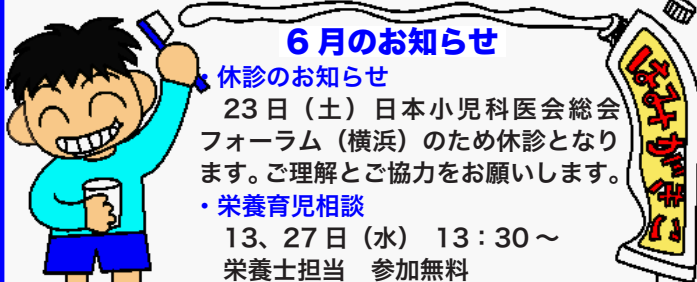
続いて報告・協議に移りました。連絡協議会の目的は先に示したように、機関及び団体の連携となってい

るので、それぞれの立場でのいじめ防止取り組みの紹介がありました。取り組みに関しては多岐にわたり、2期目を迎えた会長でさえ、初めて目にするものもありました。各機関、団体それぞれが、工夫を凝らして取り組んでいる様子が理解できました。

最も大きな取り組みは子供未来局いじめ対策推進室（以下推進室）の設置です。CLINIC NEWSでも取り上げてきましたが、郡市長は公約として「いじめ問題への対応と教育改革」をあげ、重点政策として市立中学生自死事件の徹底究明と「いじめ防止条例（仮称）」の策定を示しました。当選後には市議会いじめ問題等対策調査特別委員会で「私の下にいじめ対策を総括する組織を設ける必要性を認識している」と発言し、4月から市長部局に推進室が新設されました。目的は、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ対策の総括・いじめに係る相談・仙台市いじめ対策等検証専門家会議であり、この協議会も含まれています。

さて、どんな会議でも会長のまとめで閉会となります。さて、院長は何を話したのでしょうか。院長は医師会の立場で参加していますが、小児科医にできるいじめ対策とは何があるのでしょうか。以下が会長の締めの挨拶です。「いじめ防止、早期発見、そして対応は非常に重要なことです。ここで小児科医として、いじめを病気に見立てて考えを示します。子どもたちにはワクチンで予防できる病気があります。その場合予防はワクチン接種、周りに流行した場合の防止は手洗い・マスクなど防止策、さらに病気になった場合には治療となります。いじめでは防止や早期対応との言葉が使われますが、予防という意識はあまり見当たりません。病気では予防が重要なように、いじめが起きる年齢の前から予防という意識を持つ必要があります。つまり、学校に上がる前の家庭や集団生活を通して、自分や友だちを大切にすることを育む必要があるのです。児童生徒だけでなく、幼児期にも目を向け、年齢に応じた対応を考えなければなりません。またいじめ防止には子どもの発達段階に合わせた時間的対応だけでなく、その役割を持った機関や団体が連携しての空間的対応が必要であり、そのまとめ役をするのが連絡協議会の使命です。委員間で連携を密にして、“いじめは絶対許さない”を合言葉に協力していきましょう。」

読者の多くは、乳幼児がいるお母さんでしょう。となると、いじめとは関係がないと思うかもしれませんが、でも現にいじめは存在し、将来的にはいじめに巻き込まれるかもしれません。いじめる側、いじめられる側にならないような対応を考えてみましょう。自分や他人を大切にすることを育み、心の耐性を養うことが必要です。重要なのは親子のコミュニケーションであり、愛のキャッチボールです。そして心の耐性を養うためには、我慢させることの必要性を理解することです。今から少しずつ、いじめに目を向けていきましょう。



6月のお知らせ

・休診のお知らせ
23日（土）日本小児科医会総会フォーラム（横浜）のため休診となります。ご理解とご協力をお願いします。

・栄養育児相談
13、27日（水） 13:30～
栄養士担当 参加無料

『子ども・子育て支援の都市仙台！ ネウボラを仙台に！！』

読者の広場

先月はわずか2通だけでした。FacebookのMessengerから、SOSのメッセージが寄せられたので、合わせて紹介します。



先月号で泉区橋野さんからの愚痴メールを紹介しました。掲載の許可を取ろうと「お疲れさまです。この前もらった愚痴メール、CLINIC NEWSに乗せてもいいですね。もちろん病院名等は伏せますが。橋野さんの名前は、実名でも匿名でも構いません。念のための確認でした。」を送りましたが返信がありません。するとしばらくして「川村先生。いただきましたメール只今確認いたしました。苦しい時におすがりし、いただきましたメールに気がつかないなんて、申し訳ございません。5月の3～5日は、連日優樹の春季」大会に集中しており、本当に先生からのメールを見逃すなんて……反省しきりです。試合の方は、おかげさまで、東北大会出場を決めてきました。その大会に向けて、明日は茨城県の全日本Jrチャンピオンを育てた名コーチのPrivate lessonを2時間受けて参ります。茨城県遠征は今月2度目です。親は送迎のみですが、健康な身体あつてのサポートだとつくづく感じます。再び体調に異変を感じたら、本当にピンチの時は、迷わず川村先生に診ていただきたいです。川村先生には、感謝しがありません。いつてもどんな内容でも、是非とも実名にて掲載いただき構いません。どうぞ末永くよろしくお願ひいたします」。お言葉に甘えて、今回は(もといつか)紹介させてもらいました。ありがとうございました。

次はプライバシーに関わるものなので、単なる創作として読んでみてください。

「かわむら先生、こんばんは！相変わらず多忙な日々を送られていらっしゃるようで、先生のエネルギーは今も昔も変わらずですね。いいね！ありがとうございました。嬉しい！お父様、私の母の兄を早くに脳卒中で亡くし、お母様はガン、ご主人様まで昨年ガンで亡くされ、いとこもガン…子宮頸ガンのステージ4…元気がなく心配での訪問でした。放射線治療で、消えたそうです。リンパの心配はあるようですが…。私は、明日胃カメラです。ビビりなので、鎮静剤を使ってもらおう予定です笑。2日は、〇〇の予防接種に伺いますね。そして、私も明日胃カメラです。元気な顔を見せて元気を頂きます！先生も、ご無理なさらないで下さいね。」

「案ずるより産むが易し！明後日元気な顔を見せなさいね(笑)」(院長)

「かわむら先生、ありがとうございます。先生にお返事頂いて、先生の写真見て、安心して行ってきました。胃カメラは、寝てる間に終わりました。ポリープがあるそうですが…では、明日伺います。〇〇は、オレ絶対泣くと言っております笑。よろしくお願ひいたします。」

「かわむら先生、こんばんは 昨日から、入院しております。明日いよいよ手術。今時オベ室まで歩いて行くんですねー。術前点滴もなく、0s1を3本飲むらしいです。リラックスして行きますー。」

「心配しなくて、大丈夫(^-^)/案ずるより産むが易しだよ!! ということで、明日を迎えなさい」(院長)

「はいー！ありがとうございます。寝れるかな…」

👍 (院長)

「こんばんは。先生、お陰さまで無事手術を終え、今日退院してきました。前の方の手術が長引いて、待ち時間長くて、緊張しっぱなしで、術後は、痛みと吐き気と熱と一通り経験してきました。穴ほこは、予定より1つ少ない6個。空気が抜けるまで、肩は痛いし寝返りもしんどいしてしたが、だいぶマシになってます。昨日は、咳で…咳する度に傷口にひびいて、歩き方も、まだ前屈みです。そして、胆石30個もあつたらしく、よく胆管に落ちながつたて言われました。何が、笑えちゃいました。不安ばかりで、かわむら先生の励ましがとても心強かったです。ありがとうございました」

「退院おめでとう(^-^)/」(院長)

なかなかリアルな会話でしょう。このお母さんは安心して検査手術を迎えられたはずですが、ここまで気を遣って心のケアをするのがかかりつけ医の役割で、当院が目指している「お母さんの不安・心配の解消」です。どんな相談ごとでも受けています(笑)

CLINIC NEWS 300号に関するお願い

来月号でCLINIC NEWSが300号を迎えます。これもひとえに皆さんのお陰です。300号を記念して特集号を企画しています。

クリニックへの応援・感謝、思い出話、写真やお子さんの作品など、何でも結構です。皆さんの力を借りて、記念号を作り上げたいと思います。

6月末までお寄せください。協力をお願いします。

大崎市学校保健会講演会のご案内

演題：「小学4年生の性教育の取り組みと評価～生命大切さを伝えたい～」

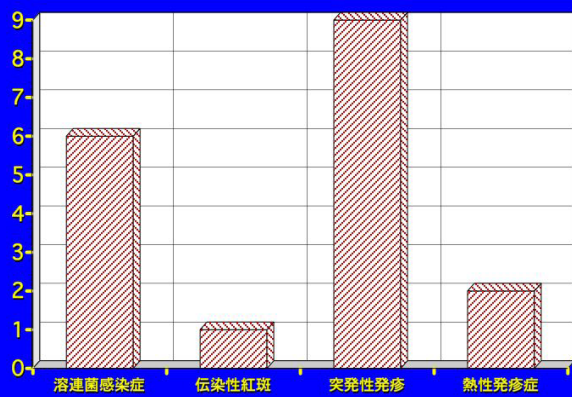
講師：川村和久(かわむらこどもクリニック)

日時：平成30年6月21日(木)15:30～

場所：大崎合同庁舎 大会議室(1階)

内容：10年継続している「命の大切さ」を伝える性教育の取り組みに関する講演です。これまでの経緯だけでなく、実際に参加者を小学生に見立てて模擬授業「赤ちゃんはどこからくるの」、保護者健康講話「悲しい出来事」を行います。保護者の参加も可能です。興味のある方は受付で問い合わせください。

5月の感染症の集計



溶連菌感染が普段と比べて多くみられた以外は、特に流行している感染症はありません。季節外れですが感染性胃腸炎が多く、周囲や近隣の保育園ではヒトメタニューモウイルス感染症が流行しました。特別な病気ではなく、気管支炎を起こすウイルスの一種で、特別な治療法はありません。夏カゼの一種である伝染性紅斑が見られ、やはり季節感が薄れてきたように感じられます。

Mail News, Facebook の紹介

Mail Newsは600人を越えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信として

Facebookページ、YouTubeにも

取り組んでいます。最新情報は

FBをどうぞ。Mail Newsが、かなり

戻ってきます。届かない場合は

kodomo-clinic.or.jpをドメイン指定

して下さい。不明な点は受付まで

問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

今回も新聞発行が遅れましたが、ごまかすための旅行記ではありませんでした。いじめ問題は複雑で、いじめをなくすことはなかなか難しいのです。「いじめは絶対に許されない」という方針で対処すべきですが、どこまでがいじめか、いじめではないのかの区別は大人でもつきにくく、ましてや小学生低学年ではほとんど不可能な状況です。さて乳幼児期からいじめ予防に関して、過程や親子で何ができるか考えてみましょう。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』

『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！